

令和3年度

かほく市総合教育会議
議 事 録

令和3年12月15日

議 事 録

令和3年度 かほく市総合教育会議議事録	
招集年月日	令和3年12月15日(水)
招集の場所	かほく市役所 302会議室
開 会	令和3年12月15日(水) 午後1時30分宣告
出席者	市長 油野 和一郎
	教育長 山越 充
	教育長職務代理者 山本 滝男
	教育委員 長柄 悦子
	教育委員 紘野 武利
	教育委員 諸井 幸子
事務局	教育部長 折戸 靖幸
	市民生活部長 千田 聡
	学校教育課長 北川 直紀
	生涯学習課長 新田 陽介
	スポーツ文化課長 山田 義幸
	学校教育課参事 北井 淳之輔
協議・調整事項	1) 通学路の安全対策について 2) G I G Aスクール構想の現状と今後について 3) その他

開 会

【折戸教育部長】

令和 3 年度かほく市総合教育会議を開催します。
まず初めに、油野市長よりご挨拶をお願いいたします。

市長あいさつ

【油野市長】

教育委員の皆さんには、ご多用の中、総合教育会議にご出席いただき、また、日頃より、かほく市の教育の推進にご尽力いただきお礼を申し上げたい。

ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染拡大により社会・経済にも大きな影響が出ており、また、子どもたちの教育にも大きな影響を及ぼしている。昨年は、学校休業という大きな事態もあったが、今年は幸いにもそのような事態にはならなかったが、それでも運動会や修学旅行といった行事が制限され子どもたちにとっては辛い時期であったと察するところであります。

新型コロナウイルスの感染については、今年度に入り 4 月には 3 名が感染された。5 月に 13 名、6 月には 2 名と減り安心をしていたが、7 月に 31 名、8 月には 104 名ということで、昨年 1 年間の感染者数 95 名を 8 月の一月だけで越えてしまいました。この時はデルタ株が流行し、大きな脅威となった。9 月から各小中学校 2 学期がスタートするにあたり大変心配していたが教職員並びに児童生徒も感染対策をしっかりと実施してくれたおかげで数名の感染はあったもののクラスターは発生しなかったことに胸をなでおろしているところである。9 月には 15 名、10 月に 4 名と減り、11 月は 1 名であった。そして 12 月については今のところ感染者はいないということで、34 日間連続でかほく市には感染者が出ていない。ただ、新型コロナウイルス自体がなくなった訳ではありませんし、新たにオミクロン株という感染力が強いとされているウイルスも発生している。そんな中、かほく市では 3 回目のワクチン接種に向け準備を進めているところである。2 回目接種から 8 ヶ月後に 3 回目を接種することとなっており、かほく市の集団接種において最初に 2 回目の接種を終えた日が 5 月 9 日であり、その 8 ヶ月後が翌年の 1 月 9 日ということで、かほく市としては 1 月 12 日から個別接種対応で実施することとしている。3 回目接種の 2 週間前に接種案内が届くように準備を進めているということもご報告させていただきます。

本日の総合教育会議では、通学路の安全対策、GIGA スクール構想の現状と今後についてのご意見を伺うこととしている。

通学路の安全対策については、平成 24 年 4 月の京都府亀岡市で発生した通学路での交通事故を受け、警察庁と国土交通省並びに文部科学省が自治体に対し通学路の安全対策のモデルケースとして交通安全プログラムを策定してほしいと呼びかけがあり、かほく市がいち早く石川県のモデルケースとして最初に取り組みさせていただいた。現在、高松中学校からカジマートまでの区間の歩道整備もスタートすることとしており、さらには、今年度から高松中学校から看護大学までの 1,700m 区間についても着工することとなりました。子どもたちの安全を守るためにしっかりと国や県に要望活動を行い一

日でも早く完成に向けて取り組んでいきたいと思っている。

限られた時間ではありますが、皆さんと連携を図りながら進めていきたいと考えているので、ご協力をお願いします。

【折戸教育部長】

市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき会議の議長は教育長とする。

議事進行は議長である山越教育長にお願いします。

議事録署名委員の指名

【山越議長（教育長）】

運営要綱の規定により会議の進行をします。市総合教育会議運営要綱第4条第3項の規定に基づき議事録の署名を油野市長、山本教育長職務代理者にお願いします。

協議・調整事項 ① 通学路の安全対策について

【山越議長】

協議・調整事項に入ります。はじめに、通学路の安全対策について、事務局である折戸部長、また、交通安全・防犯担当である千田市民生活部長にも出席いただき2人からの説明後、質疑等も含めてご意見を伺うこととする。

【折戸教育部長・千田市民生活部長】

（資料により、通学路の安全対策の現状、交通安全・防犯事業の取り組みについて説明をなす。）

【山越議長】

まずは、教育委員の方から通学路の安全対策について、説明に対する質問や意見等についての発言を願う。

【粕野委員】

ハード面においては、グリーンベルトの増長や拡張工事も随時施工されており十分なほど実施されている。そんな中で、これから強化をして目を向けなければならないのはソフト面となってくる。説明に対する質問として、交通安全教室は年1回の実施なのか。また、要請団体はPTAなのか、それとも学校なのか。

【千田市民生活部長】

学校毎に回数は異なる。低学年と高学年に分けて実施したりと方法は様々であるが、基本的には歩行教室1回、自転車教室1回としている。要請は学校からとなっている。

【粕野委員】

登下校については学校の責任ではないと思っているが。管轄が中途半端に思える。

【山越議長】

学校としては責任がないとは言えないし、教育長としてそういう指導はしている。

【油野市長】

かほく市としての通学路ですが、よく言われるのが中央図書館後ろの県道が狭く、遠塚の交差点までの300mに歩道を作っていたが、残りの木津までの車道が狭く歩道もないことから歩道整備を実施してほしいと先日の各種女性団体連絡協議会主催の

市政座談会でもご提案をいただいた。そういう時に学校としてはその県道を通学路として出来るだけ通らないように促してもらいたい。中学生の場合は、極力、県道を通らずに国道の歩道を通るよう、また、小学生の場合は、通行量の少ない海寄りの道路を通るようにしていただきたいと思っており、通学路については学校の指導のもとで子ども達に伝えてほしい。学校の責任ではないということではなく、それぞれの役割をしっかりと行い、市として実施すべき要望活動やハード事業の整備を計画し、学校には教育長をはじめ学校教育課が指導をし、相互が連携をして取り組んでいかなければならない。

【山本教育長職務代理】

街頭交通推進隊や防犯協会の方々がソフト面に協力していただけていることに感謝しているが、残念ながら常勤ではない。先日も声掛け事案や盗撮事案といった案件がいいメールかほくにも流れてきている。こういった事案の抑止効果を上げるためには、常勤までいかないまでも、いつでも監視しているという状況を作る必要があるのではないかと。

抑止効果を作るためには市長もおっしゃるとおり連携が必要であり、では、その連携を誰が作るのか。学校で作るのは非常に難しい。やはり市がリードして作っていかざるを得ないと思う。特に心配しているのは、中学校の部活動が終わった帰りの時間でありどうしても暗くなってからの下校となる。小学校は見守り隊でカバーは出来ても中学校はカバーしきれない。この時間帯を連携してカバーできる良い知恵がないものか。

【千田市民生活部長】

防犯協会にその時間帯の見守り活動をしてほしいと依頼をしても断られると思う。個人的な意見になるが、世間の流れとして「コミュニティー活動の強化」「市民協働」が挙げられる。現在の見守りも市民協働という位置づけにし、市全体での枠組みとして整理するという手法はあり、そのようなスタイルで実施している市町も実際にはある。例えば、教育部局での公民館活動と市長部局の町会区長会といった地元自治会の仕事を合わせて、市民協働という枠組みの中にコミュニティー活動の強化・見守りをしていくという整理は出来ると思うが、一朝一夕で出来るものではなく枠組みの手段として考えられる。

【山本教育長職務代理】

難しい課題とは思いますが、安心・安全なまちづくりの一つの手立てとして整理をしてほしい。

【諸井委員】

山本委員と同意見だが、私の地区でも月曜日に見守り隊の方が見守ってくれているので安心して道に出れるが、月曜日以外は見守り隊の方が居らず、また、朝なのでカーブミラーが曇っていて危ないと思うことがあった。見守り隊の方が出れないのであればカーブミラーが曇らない方法を検討してはどうか。また、ボランティアに頼らざるを得ないというところで、例えば、シルバー人材センター等に仕事として委託し出来る限り見守ってもらうのも一つの手立てと思う。防犯面で言えば、不審者が出てからパトロールをするのではなく、定期的にパトロールを実施してほしい。

【長柄委員】

通学路の安全対策として、テレビ番組で取り上げていたのを見て申し上げるのだが、A I を利用し自動車の交通量が多い信号がない交差点に電光掲示板を設置し、児童生徒が交差点を渡る際にその電光掲示板に表記され安全対策に役立てる研究をされている番組があった。I C T を活用した取組を掲げてみてはどうか。

【油野市長】

道路に対する信号機や掲示板は、市独自で設置は出来ない。横断歩道ひとつにしても警察が現地を確認し、県公安委員会の許可のもと設置される。委員の取組も理解できるが、市が独自で設置出来ないこともご理解願いたい。

国や県の予算が削減されている中で交通安全対策に対する予算が少なくなっており、山本委員、諸井委員も発言していただいたが、常勤のことやシルバー人材センターを雇うことは現実として非常に厳しいことであり、また、防犯パトロールにおいても出動いただく人材の確保や出動時間の制限がある中で安心・安全な街づくりのためにみんなで知恵を絞るしかないと思っている。

また、高齢者が運転する交通事故が増えており、誰もが認知機能低下する中において認知症になる前に自動車免許証返納をPRしている。昨年度は156名の返納があった。もしもの事故が起きる前に免許証返納してほしいと今後も呼びかけていくしかないと思っている。

【山越議長】

ありがとうございます。この通学路の安全対策については、「交通安全」という部分と「防犯」という部分があり、見守り隊のスタートは「防犯」の観点からが主であったと思っている。先程、千田市民生活部長が申した「市民協働」については、金津小学校が区長をはじめ地域の方々とPTAとで安全委員会を立ち上げ連携しながらパトロールをしている。基本的にはボランティアに頼ることになるが、頼るだけではないもっと大きな仕組みができれば本会議を開いた意味にも繋がる。

七塚地区の国道159号の自歩道整備であるが、これまで自転車・歩行者専用道路とイメージしていたが、実際は歩道整備であった。自転車については車道の路肩を走ることとなる。議会にも説明はしているが、教育委員にも認識しておいてほしい。

【油野市長】

整備当初は自歩道整備であったものが、自転車と歩行者の事故が多発していることを鑑み、整備途中で国は自転車と歩行者を区分けした法改正を図った。

【山越議長】

学校運営協議会において河北台中学校の自転車通学について議論していたが、歩道整備となったことにより今後の自転車通学の議論についても影響があるかもしれない。

これで、協議・調整事項の「通学路の安全対策について」は終了いたします。

協議・調整事項 ② G I G Aスクール構想の現状と今後について

【山越議長】

続いて、②G I G Aスクール構想の現状と今後について事務局より説明を求める。

【北川学校教育課長】

(資料により、G I G Aスクール構想の現状と今後について説明をなす。)

【山越議長】

端末を使うにあたって児童生徒または先生から困りごとなどを聞いていれば教えてほしい。

【北川学校教育課長】

端末にログインされないなどのトラブル的な報告は受けている。

【山越議長】

機械操作の困りごとのみで、児童生徒が端末自体を利用したくない、また、教員が使用を拒むような事例はないのか。全員が前向きに取り組んでいるのか。

【北川学校教育課長】

そのような事例はありません。全員が前向きに取り組んでいる。

【山越議長】

教育委員は、学校訪問で直接、授業で使用しているところを見られているので、事務局の説明も踏まえて市長にお願いや質疑がありましたらご発言願う。

【長柄委員】

広報に記載のあった山本教育センター所長の文中に、「学校の壁を越え、遠隔地や海外の学校との交流」ができるようなオンラインの整備をしてほしいと思う。

【油野市長】

長柄委員の質問については、学校教育課または教育部からオンライン整備を実施したいという提案があれば検討させていただきたいと思っております。

現実にも今までもオンラインで通信しているのでは。

【折戸教育部長】

実際に、山本教育センター所長中心にメスキルヒ市と市内の中学生との交流をオンラインで実現できないか協議を重ねているところであり、準備は進めております。

【山越議長】

時間もありませんので、G I G Aスクール構想の現状と今後については終了いたします。G I G Aスクール構想についてはスタートして1年であるが、学校毎に使用差があり、その辺りについては校長研修会等を通じて話をしていきたい。

協議・調整事項 ③ その他

【山越議長】

最後に、その他について協議事項以外でも結構なので発言願いたい。

【紘野委員】

今ほどG I G Aスクール構想でのI C T活用を協議したが、行政のデジタル化の推進はどうなっているか。教育委員として3年経つが膨大な資料を保管しており、また、案内通知も今回の案内だけで6枚送られてきた。学校もI C T活用が始まったが行政としてもデジタル化に進むべきではないか。市長として、思い浮かべるデジタル化のビジョンがあれば教えてほしい。

【油野市長】

行政の一番遅れている部分が今のコロナで後手になっている。かほく市としても今、デジタル化に向かってみんなで力を合わせて取り組もうとしており、会議資料や議会資料についてもタブレットを導入しながら、これから加速化するよう市の大きな事業として現在取り組もうとしている。

【諸井委員】

先程、免許返納について話が出たが、かほく市に在住していたら免許がないと不便という考えがあって返納しづらいと思う。免許を返納するにあたり自動車が無くても生活できる環境づくりをさらに整備してほしい。

【油野市長】

まさに福祉巡回バスもその一つであり、また、イオンも無料バスを運行したり、さらには、民間事業者が羽咋から金沢まで運行している「ランRunBus」があり、色々な形での環境整備を行っているが、すべて行政が出来るかと言えばそうではない。そんな中で市では福祉巡回バスを運行させ、高齢者の足の確保に努めている。

【山越議長】

会議終了時間となりましたので議事進行を事務局にお返しする。

閉 会

【折戸教育部長】

以上で、令和3年度かほく市総合教育会議を閉会します。
お疲れ様でした。

午後3時00分閉会

議長（教育長） 山 越 充

署名（市 長） 油 野 和一郎

署名（教育委員） 山 本 滝 男